

診査診断学実習

責任者名：篠崎 貴弘

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

篠崎 貴弘(口腔内科学 専任講師)

今村 佳樹(口腔診断学 特任教授)

新井 嘉則(歯科放射線学 教授)

本田 和也(歯科放射線学 教授)

岡 俊一(歯科麻酔学 教授)

岡田 明子(口腔内科学 教授)

野間 昇(口腔内科学 教授)

松本 邦史(歯科放射線学 准教授)

小柳 裕子(歯科麻酔学 准教授)

菊入 崇(小児歯科学 教授)

江島 堅一郎(歯科放射線学 専任講師)

澤田 久仁彦(歯科放射線学 専任講師)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

出澤 幸(歯科放射線学 助教)

雨宮 俊彦(歯科放射線学 助教)

川嶋 祥史(歯科放射線学 兼任講師)

林 悠介(歯科放射線学 兼任講師)

武井 浩樹(小児歯科学 兼任講師)

関野 麗子(歯科麻酔学 兼任講師)

北山 稔恭(歯科麻酔学 助教)

武田 ひとみ(歯科麻酔学 助教)

金子 啓介(歯科麻酔学 助教)

梶原 美絵(歯科麻酔学 助教)

小川 洋二郎(歯科麻酔学 兼任講師)

廣瀬 倫也(歯科麻酔学・薬理学 兼任講師)

石山 未紗(小児歯科学 助教)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

顎口腔領域と全身の診査法の実際を修得し,得られた所見から診断するために,診査診断の過程を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

医療面接, 口腔内外診査を通して,全身ならびに口腔顔面の問題点を把握し,評価, 診断を説明できる。また,その問題点から対応を導き,正しく治療を施す手法を示すことができる。小児歯科学実習では,小児の特殊性を理解し,放射線学実習では,エックス線を用いた検査手法を述べることができ,読影することができる。歯科麻酔学実習では,バイ

タルサイン測定,笑気吸入鎮静法,気道閉塞,一次救命処置,血糖値測定について理解を深めるとともに,脈拍数および血圧の測定(触診法、聴診法)と成人に対する一次救命処置(JRCガイドライン2020)を実施することができる。口腔診断学実習では,初診時患者の口腔内外の問題点の評価,診断を導き実施できる。

◆評価方法

小児歯科学実習では,実習での小テストと成果物により評価する(小テスト20点、トレース40点、歯列周長分析40点)。歯科放射線学実習では,試験(理解度試験・実技試験・口頭試問)を中心に実習態度や実習成果等を参考に評価する(試験70点、実習態度15点、実習成果15点)。医療面接,口腔内外診査では,実習試験を定期試験として評価する(実習試験100点)。歯科麻酔学実習では,遠隔講義での小テストおよび理解度試験と対面実習での実技試験で評価する(小テスト20点,理解度試験40点,実技試験40点)。総合評価に当たっては,各教科の評定を等分にする。出席確認は,各実習毎にチェックする。原則として欠席は認めない。欠席は総合評価から減点対象となるので,欠席しないこと。口頭試問,総合試験もしくは実習試験終了後,未到達点に関して各分野毎にチューターによりフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
今村 佳樹	水曜日 17:00~18:00 口腔診断学講座教授室	imamura.yoshiki@nihon-u.ac.jp	要予約
新井 嘉則	月曜日 17:00~18:00 歯科放射線学講座研究室	arai.yoshinori@nihon-u.ac.jp	要予約
岡 俊一	月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座教授室	desh20269@g.nihon-u.ac.jp	要予約
岡田 明子	月曜日 17:00~17:30 口腔診断学講座研究室	okada.akiko1@nihon-u.ac.jp	要予約
野間 昇	月曜日 17:00~17:30 口腔診断学講座研究室	noma.noboru@nihon-u.ac.jp	要予約
松本 邦史	月曜日 17:00~18:00 歯科放射線学研究室	matsumoto.kunihito@nihon-u.ac.jp	要予約
小柳 裕子	月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座研究室	desh20269@g.nihon-u.ac.jp koyanagi.yuuko@nihon-u.ac.jp	要予約
上原 任	月曜日 17:00~18:00 3号館3階医療人間科学研究室	uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp	なるべくメールで連絡すること
篠崎 貴弘	月曜日 17:00~18:00 口腔診断学講座研究室	shinozaki.takahiro@nihon-u.ac.jp	要予約

菊入 崇	月曜日 17:00~18:00 小児歯科学教授室	kikuri.takashi@nihon-u.ac.jp	
------	-----------------------------	------------------------------	--

◆授業の方法

小児歯科実習では、エックス線像と模型による実習を行う。放射線科実習では、医療面接、口内法およびパノラマ X 撮影、フィルムマウント、口外法および特殊撮影の読影を中心とした実習を行う。歯科麻酔学実習では、バイタルサイン測定、笑気吸入鎮静法、気道閉塞、一次救命処置、および血糖値測定について、ビデオによる学習と小テスト、理解度試験、実技実習、および実技試験を行う。理解度試験の成績が基準に満たない場合は追加の課題を課し、フォローを行う。診査診断学実習では、医療面接、口腔内外診査をロールプレイにより行い、実際に標準患者にて医療面接実習試験を行う。

【実務経験】篠崎 貴弘：日本大学歯学部附属歯科病院口腔診断科での経験等の話も交えながら、臨床現場において本教科で学ぶコミュニケーションの理論や技法がいかにかに活かされるかについて学ぶ場を提供したい。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント	口腔診断学実習		配布	
教科書 1	小児歯科学基礎・臨床実習 第3版	白川哲夫 他編	医歯薬出版	2021
教科書 2	歯科医のための救急処置マニュアル	見崎 徹、伊東 隆利編	医歯薬出版	2015
教科書 3	歯科放射線学 第6版	岡野友宏 他	医歯薬出版	2018
実習書 1	歯科麻酔学実習書	日本大学歯学部歯科麻酔学講座	日本大学歯学部歯科麻酔学講座	2021
実習書 2	歯科放射線学実習書	日本大学歯学部歯科放射線学講座	日本大学歯学部歯科放射線学講座	2023

◆DP・CP

[DP1]

[DP3]

[DP4]

[DP6]

[CP1]

[CP3]

[CP4]

[CP6]

◆準備学習(予習・復習)

教科書,参考書,実習書で,実技内容を予習しておくこと。口腔診断の予習に関しては,前期の医療面接の講義で学んだ内容を実習で学ぶので,前期医療面接の講義の復習が,本実習の予習に当たる。医療面接のプロセスとコンテンツを十分に復習しておくこと。特に臨床推論(症状と所見から考えられる疾患名を推測する)については,提示症例について詳しく復習しておくこと。

歯科麻酔学実習では4年前期に履修した歯科麻酔学各論および口腔外科手術時の患者管理の関連する講義内容も小テストと理解度試験に含むため,復習しておくこと。

◆準備学習時間

少なくとも各2時間以上をかけて教科書,参考書,該当講義の配布資料,実習書等で,実技内容を予習しておくこと。

◆全学年を通しての関連教科

- 第3学年後期 人体解剖学実習
- 第3学年後期 医療コミュニケーション
- 第4学年前期 医療面接
- 第4学年後期 口腔診断学・有病者歯科学
- 第3学年前期 歯科放射線学総論
- 第4学年前期 歯科放射線学各論
- 第4学年前期 歯科麻酔学各論
- 第4学年前期 口腔外科手術時の患者管理

◆予定表

- ・第1回と第2回は全員が小児歯科学の実習を行う。第3回は,口腔診断学,歯科放射線学,歯科麻酔学の実習講義を行う。
- ・第4回以降は1学年を学年番号奇数A(1-4)班と学年番号偶数B(1-4)班とする。各班はA1、A2、A3、A4、B1、B2、B3、B4とする。
- ・口腔診断学,歯科麻酔学はA1班,A2班,B1班,B2班の4班に分けて実習を行う。
- ・A班が歯科放射線学の実習(計6回)を行っている間にB班は口腔診断学実習(計3回)と歯科麻酔学実習(計3回)を交代で行う。後半では,A班とB班が入れ替わる。
- ・歯科放射線学実習では,さらにA班,B班をそれぞれ4つに分割し,8班に分け実習を行う。なお,実習内容や評価方法などを変更する場合はGoogleのクラスルーム上で連絡をする。
- ・以上,実習を並行して行うので,各自,自分がいつ,どの実習を行うかを事前に理解して実習の予習を行うこと。

注意事項:

1. 各班で実習内容が異なるので,各自所定の日に,教科書および実習書を持参の上,指定の実習場所へ集合のこと。
2. 頭髪,手指を清潔にし,バッジ・白衣・院内帽を着用のこと。
3. 各実習終了後,口頭試問・レポート等を課す。
4. 欠番,欠席等の理由により,学生によっては実習項目が変わることがある。
5. エックス線撮影実習のパノラマ撮影・口内法撮影は歯科放射線科病院外来で,医療面接・フルマウスのマウント・パノラマ/CT/MRI等の読像実習は講義室で行う。班分けやスケジュール,また変更等がある場合については随時別途,Googleのクラスルーム上でアナウンスをするので十分に注意すること。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
---	-----	----	----	------	--------	----	----------

1	A・B	9.13	6 ～ 8	1. 小児歯科学 1)乳歯列と混合歯列のエックス線画像診断 (教1) pp.11-20	・発育期の口腔領域のエックス線画像の読影および分析を行い,萌出している歯と顎骨内の永久歯胚との位置関係が説明できる。	石山 未紗	F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
2	A・B	9.20	6 ～ 8	1. 小児歯科学 2)歯列周長分析 (教1) pp.133-137	・歯列・咬合の成長予測における口腔模型の分析の重要性を説明できる。 ・歯列長径や幅径の計測法,第一大臼歯を基準とする咬合評価法を学ぶ。 ・混合歯列期の模型を用いた,歯列・咬合の成長予測の方法を説明できる。	石山 未紗	F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
8-9	B・A	9.27	6 ～ 8	2. 実習講義オリエンテーション 1) 歯科放射線学 2) 診査診断学 3) 歯科麻酔学	・画像診断に必要な撮影法を説明できる。 ・画像診断に必要な頭・頸部の解剖と読影を説明できる。 ・画像診断に必要な放射線物理や放射線防護を学ぶ。 ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査における診査項目を理解し,手技の要点を説明できる。 ・口腔内診査における診査項目を理解し,手技の要点を説明することができる。 ・歯科麻酔学実習の概要を理解できる。	雨宮 俊彦 今村 佳樹	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査
10-11	A1,2 ・ B1,2	10.11	6 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習	・パノラマエックス線写真のトレースを行い,その正常解剖について説明することができる。	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査 F-2-1) 医療面接
10	B4・	10.11	6	4. 口腔診断学実	・医療面接のプロセスとコンテンツ	今村 佳樹	F-2-1) 医療面

- 11	A4		~ 8	習 1) 医療面接, 口腔外診査	を説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技, 対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接, 口腔外診査を通して診断を導くことができる。	岡田 明子 野間 昇	接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
10 - 11	B3・ A3	10.11	6 ~ 8	5. 歯科麻酔学実習 1) バイタルサイン測定	・脈拍数の測定と血圧の測定(触診法、聴診法)を実施できる。	関野 麗子 北山 稔恭 金子 啓介 梶原 美絵 小川 洋二郎 廣瀬 倫也	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
13 - 14	A1,2 ・ B1,2	10.18	6 ~ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習	・口外法撮影の種類とその正常解剖について説明することができる。 ・前回の実習で学修した内容を踏まえ, 以下の内容を実施できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技, 対応を修得できる。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 ・医療面接, 口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査 F-2-1) 医療面接
13 - 14	B4・ A4	10.18	6 ~ 8	4. 口腔診断学実習 2) 医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査	・前回の実習で学修した内容を踏まえ, 以下の内容を実施できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技, 対応を修得できる。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策

					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 ・医療面接，口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。 		
13 - 14	B3・ A3	10.18	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 2) 一次救命処置	<ul style="list-style-type: none"> ・成人に対する一次救命処置（JRCガイドライン 2020）を実施できる。 	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置 F-1-2) 医療安全・感染対策
17 - 18	A1,2 ・ B1,2	10.25	6 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	A①②、B①② <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分画法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査 F-2-1) 医療面接
17 - 18	B4・ A4	10.25	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 3) 実習試験 医療面接，口腔外診査，口腔内診査の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者を用いた医療面接，口腔内外診査を行い，正しい診断を導くことができる。 ・医療面接，口腔内外診査の評価を通し，総合的に医療面接，口腔内外診査を実施できる。 	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
17 - 18	B3・ A3	10.25	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサイン測定および一次救命処置の実技試験を行う。 	岡 俊一 関野 麗子 北山 稔恭 武田 ひとみ	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必

						金子 啓介 小川 洋二 郎 廣瀬 倫也 梶原 美絵	要な診察と検査
20 - 21	A1,2 ・ B1,2	11.1	6 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学 実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査
20 - 21	B3・ A3	11.1	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 1) 医療面接, 口腔外診査	・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技, 対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接, 口腔外診査を通して診断を導くことができる。	口腔診断	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
20 - 21	B4・ A4	11.1	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学 1) バイタルサイン測定	・脈拍数の測定と血圧の測定（触診法、聴診法）を実施できる。	岡 俊一 関野 麗子 北山 稔恭 武田 ひとみ 金子 啓介 小川 洋二 郎 廣瀬 倫也 梶原 美絵	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査

23 - 24	A1,2 ・ B1,2	11.8	6 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学 実習 1) 放射線読影実 習 2) 口内法撮影と 解剖 3) パノラマエッ クス線撮影と解剖 4) フルマウスの マウントと診断 5) 放射線医療面 接実習 6) 放射線防護と 管理	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面 法・正放射線投影法・フィルムホル ダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明 できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に 説明し、撮影の承諾を得ることがで きる。 ・放射線の物質による減弱を確認 し、防御の実際および関連法規を理 解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明で きる。	放射線	F-2-1) 医療面 接 F-2-2) 全身状 態の把握及び 歯科治療に必 要な診察と検 査 F-3 画像検査
23 - 24	B3・ A3	11.8	6 ～ 8	4. 口腔診断学実 習 2) 医療面接, 口 腔外診査, 口腔内 診査	・前回の実習で学修した内容を踏ま え, 以下の内容を学修できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容につ いて説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技, 対 応を修得できる。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験 できる。 ・医療面接, 口腔外・内診査を通し て診断を導くことができる。	岡田 明子	F-1-1) 口腔内 の診察・記録 F-1-2) 医療安 全・感染対策
23 - 24	B4・ A4	11.8	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実 習 2) 一次救命処置	・成人に対する一次救命処置 (JRC ガイドライン 2020) を実施でき る。	歯科麻酔	E-1-6) 救急処 置 F-1-2) 医療安 全・感染対策
26 - 27	A1,2 ・ B1,2	11.15	6 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学 実習 実習試験	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面 法・正放射線投影法・フィルムホル ダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明 できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に	放射線	F-2-1) 医療面 接 F-2-2) 全身状 態の把握及び 歯科治療に必 要な診察と検 査 F-3 画像検査

					<p>説明し、撮影の承諾を得ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 		
26 - 27	B3・ A3	11.15	6 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>3) 実習試験</p> <p>医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 模擬患者を用いた医療面接, 口腔内外診査を行い, 正しい診断を導くことができる。 医療面接, 口腔内外診査の評価を通し, 総合的に医療面接, 口腔内外診査を実施できる。 	岡田 明子	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療</p>
26 - 27	B4・ A4	11.15	6 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学実習</p> <p>3) 実技試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン測定および一次救命処置の実技試験を行う。 	歯科麻酔	<p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
29 - 30	B3,4 ・ A3,4	11.22	6 ～ 8	<p>A③④、B③④</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> パノラマエックス線写真のトレースを行い, その正常解剖について説明することができる。 	放射線	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p> <p>F-3 画像検査</p>
29 - 30	B2・ A2	11.22	6 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>1) 医療面接, 口腔外診査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 口腔外診査に必要な診査手技, 対応を実施できる。 相互実習による診査・診断を体験できる。 	<p>篠崎 貴弘</p> <p>今村 佳樹</p> <p>岡田 明子</p>	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療</p>

					・医療面接，口腔外診査を通して診断を導くことができる。		
29 - 30	B1・ A1	11.22	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学 1) バイタルサイン測定	・脈拍数の測定と血圧の測定（触診法、聴診法）を実施できる。	歯科麻酔	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
32 - 33	B3,4 ・ A3,4	11.29	6 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習	・口外法撮影の種類とその正常解剖について説明することができる。	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-2-1) 医療面接 F-3 画像検査
32 - 33	B2・ A2	11.29	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 2) 医療面接，口腔外診査，口腔内診査	・模擬患者を用いた医療面接，口腔内外診査を行い，正しい診断を導くことができる。 ・医療面接，口腔内外診査の評価を通し，総合的に医療面接，口腔内外診査を実施できる。	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策
32 - 33	B1・ A1	11.29	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 2) 一次救命処置	・成人に対する一次救命処置（JRCガイドライン 2020）を実施できる。	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置 F-1-2) 医療安全・感染対策
35 - 36	B3,4 ・ A3,4	12.6	6 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスの	・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査

				マウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。		
35 - 36	B2・ A2	12.6	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 3) 実習試験 医療面接、口腔外診査、口腔内診査の評価	・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施することができる。	篠崎 貴弘 今村 佳樹 岡田 明子	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療
35 - 36	B1・ A1	12.6	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 実技試験	・バイタルサイン測定および一次救命処置の実技試験を行う。	歯科麻酔	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
38 - 39	B3,4 ・ A3,4	12.13	6 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査
38 - 39	B1・ A1	12.13	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習	・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。	今村 佳樹 岡田 明子	F-2-1) 医療面接

39			8	1) 医療面接, 口腔外診査	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技, 対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接, 口腔外診査を通して診断を導くことができる。 		F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療
38 - 39	B2・ A2	12.13	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学 1) バイタルサイン測定	<ul style="list-style-type: none"> ・脈拍数の測定と血圧の測定（触診法、聴診法）を実施できる。 	歯科麻酔	E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療
41 - 42	B3,4 ・ A3,4	12.20	6 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査
41 - 42	B1・ A1	12.20	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 2) 医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の実習で学修した内容を踏まえ, 以下の内容を学修できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技, 対応を修得する。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策

					・医療面接、口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。		
41 - 42	B2・ A2	12.20	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 2) 一次救命処置	・成人に対する一次救命処置（JRCガイドライン 2020）を実施できる。	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置 F-1-2) 医療安全・感染対策
44 - 45	B3,4 ・ A3,4	1.10	6 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 実習試験	・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査 F-3 画像検査
44 - 45	B1・ A1	1.10	6 ～ 8	4. 口腔診断学実習 3) 実習試験 医療面接、口腔外診査、口腔内診査の評価	・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療
44 - 45	B2・ A2	1.10	6 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 実技試験	・バイタルサイン測定および一次救命処置の実技試験を行う。	歯科麻酔	F-1-2) 医療安全・感染対策 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
放射線	920	本田 和也
	1121	江島 堅一郎
	1167	澤田 久仁彦
	2835	林 悠介
	2849	出澤 幸
	3000578	川嶋 祥史
	1753	新井 嘉則
	2937	雨宮 俊彦
	3280	松本 邦史
	小児歯科	2007
2292		武井 浩樹
3590		菊入 崇
歯科麻酔	1085	岡 俊一
	2193	小柳 裕子
	2208	関野 麗子
	2666	武田 ひとみ
	2698	北山 稔恭
	3558	梶原 美絵
	3559	金子 啓介
	1000003	小川 洋二郎
	1000071	廣瀬 倫也
	口腔診断	1255
1291		上原 任
1308		今村 佳樹
1321		野間 昇
1376		岡田 明子